

# 大潟村ネイチャーポジティブ宣言

大潟村は1964年に国営八郎潟干拓事業により、八郎潟の湖底に誕生した村です。すべてが人工的に造られ、水田を中心とする農地、防風林帯、ヨシ原、村を囲む残存湖（八郎湖）と網の目状の用排水路により、干拓地特有の自然を育ててきました。また、土地面積の70%を占める農地において、2001年に環境創造型農業宣言を、2023年にはオーガニックビレッジ宣言を行い、農業面でも自然の保全に努めているところです。

開村から60年が経ち、農業を基盤とした人々の生活と野鳥をはじめとする多様な生物が共存する湿地性里山環境が確立されつつあります。私たちはこの共存の形をさらに一歩先に進めるため「ネイチャーポジティブ宣言」をいたします。

## 大潟村は生物多様性国家戦略の 基本戦略すべてに全力で取り組みます

1. 農業や産業、生活からの環境負荷軽減に取り組み、自然の保全に努めます
2. 脱炭素先行地域として自然エネルギー100%の村づくりを目指します
3. 有機栽培や特別栽培など、自然保全の取り組みを農産物の販売に活かし普及します
4. 干拓博物館を中心に自然観察会や講演会、ふるさと教育等を通じ、村の生物多様性とその価値の理解を進め情報の発信に努めます
5. 東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ (EAAFP) 登録地、男鹿半島・大潟ジオパークとして、大潟の自然を愛する会や村民と共に国内外と連携して取り組みます

令和7年6月2日



大潟村長

高橋 浩人